

# コッペリア

エナメルの子をされた娘

## Coppélia

La Fille aux yeux d'email

葛蓓莉娅

Коппелия

浅野 正 版

演出台本

バレエTAMA

2015年作品版

浅野 正 著

2015年4月2日版

原作／エルンスト・ホフマン（独 1776-1822）『砂鬼 Der Sandmann』による  
Ernst Theodor Amadeus Hoffmann

台本／シャルル・ニュイッテル（仏 1828～99）  
Charles-Louis-Etienne Nutter

音楽／レオ・ドリーブ（仏 1836～91）  
Léo Delibes

原振付／アルチュール・サン＝レオン  
Arthur Saint-Léon



ドリーブ

初演／1870年 パリ・オペラ座

2006年 バレエTAMA＝浅野 正版

底抜けに明るい若者たちによる軽妙で洒落た恋の物語 コッペリア は、副題を『エナメル製の瞳をした娘 La Fille aux yeux d'email』として1870年5月25日 パリ・オペラ座 で初演された。

産業革命を背景に科学に対する関心、異国情緒への憧れ（コッペリアの中でも、ポーランド、ハンガリー、スペイン、スコットランドの舞踊が登場する）・・・これらがフランス文化の中で独特の 機知に富んだ精神（エスプリ）を生み出し、機械（人形）が命を得たらどうなるのだろうかという主題を持ったバレエが誕生した。

振付に3年を要したり、初演後すぐに普仏戦争のため主役を失ったり、パリがドイツに占領されたりと順調とはいえないスタートをしたが、今日なお上演の多い喜劇バレエである。なお、サン＝レオン振付中に日本は明治維新。日本での コッペリア 初演は、80年後の1947年である。

今回の演出は、現代的スピード感に拠って、古典の味わいを理屈抜きに楽しもうとするものである。（浅野 正）

バレエTAMA 2006年版 .....

演出・振付	浅野 正	音楽	レオ・ドリーブ
バレエ・ミストレス	原田貴子		
舞台監督	依田直之	照明	梶ライティング・デザイン
音響	長屋正一	大小道具	ユニワークショップ
衣裳	バレエ団えぼっく衣裳部 バレエTAMA衣裳部	佐藤バレエ（春日部市）	
主催	バレエTAMA		
開催日	2015年8月16日 16時開演	ルネこだいら（東京都小平市）	

## 主な登場人物

コッペリウス	人形職人 機会仕掛けの人形を作ることに夢中になっている、少年のような心を持った老人 人付き合いが悪く、科学・魔術・錬金術に長けているので奇異の目で見られている。
スワニルダ	町の人気者 フランツとは恋仲
フランツ	スワニルダの恋人 ちょいと好い男だが浮気っぽい
牧師	いつも飲んだくれていた愛すべき爺ちゃん 市長の友人
市長	鷹揚でみんなの尊敬を集めている。この町の牧師とは親友
市長夫人	極度の近眼だが、涙もろいナイス・ママ
コッペリア	エナメルを塗ったコッペリウスの娘

## ものがたり

### **第一幕** (ポーランドの南、ガルシア地方 ある町の広場)

人形職人のコッペリウスは、町の人たちから変人扱いされている老人である。彼には、かわいい目をしていつも本を読んでいる娘のコッペリアがいる。町の人気者スワニルダは明るい元気な少女。フランツとは恋仲である。しかし近ごろフランツはコッペリアに♥の様子。スワニルダは心中穏やかでない。

人々が華やかなマズルカを踊ると、市長が登場し「領主様が町の教会に新しい“時の鐘”を寄贈してくださるので、お祭りが催される」と発表する。さらに「その日に結婚する者には市から持参金が贈られる」とのこと。スワニルダとフランツは麦の穂で恋占いを試みる。言い伝えによると麦の穂は恋人の本心を語り、恋が成就するときは妙なる音を出すという。スワニルダが麦穂を振ると佳い音が聞こえたので大いに喜ぶが、フランツに対しては「何も聞こえないわよ」と言ってわざと冷たくする。二人の恋の鞘当ては夕方まで続く。

夜になり、コッペリウスは一杯やるために酒場に向かう。いたずら好きな若者たちからかわれて、家の鍵を落としてしまう。鍵を拾ったスワニルダと友人たちはコッペリアに会って直談判することを思いつく。フランツもまた、コッペリアの元に忍び込めんと梯子を使って2階の窓を目指す。

## 第二幕

(コッペリウス家の二階 仕事場 さまざまな機械仕掛けの人形がある)

忍び込んだワニルダたちはコッペリアが奥の部屋にいるのを見つけ挨拶をするが返事がない。娘たちはコッペリアがただの人形であると知り一安心、手当たり次第に人形たちを動かして遊び始める。そこへコッペリウスが戻ってきたから、さあ大変。

娘たちは追い出されたが、スワニルダはコッペリアの部屋に隠れる。

コッペリウスは窓から侵入してきたフランツも捕まえるが、ある妙案を思いつく。

「こいつの魂を抜き取って、コッペリアに吹き込もう。」

フランツに眠り薬を入れた酒を飲ませ『誰でもできる 魔法入門』という本に従って作業を始めると・・・あら不思議、コッペリアは自動的に動き出す。しかし本当は逃げ遅れたスワニルダがコッペリアの服を着て入れ替わっているのだ。彼女はコッペリウスをからかって魂を吹き込まれた人形を演じているのだが、だんだん面倒になり悪戯を始める。“コッペリア”に起こされたフランツは、自分が大事にするべき人はスワニルダであることに気が付いて仲直り。コッペリウスは大切な人形を壊され悲しいやら、腹が立つやら。

## 第三幕

(再び町の広場 余興のための舞台がしつらえてある)

祭りの日。フランツとスワニルダはめでたく結婚の場に進む。そこへ怒り心頭怒髪天をついたコッペリウスが現れ、「おのれらあ、壊したものをどうしてくれるんだあ！！」と損害の賠償を請求する。スワニルダとフランツは受け取ったばかりの持参金を渡して素直に詫げる。若い夫婦の真心にふれたコッペリウスは、二人の前途を思い持参金を返し「良い町民になるんだぞ」と祝福する。感動にどよめく町の人々。コッペリウスは優しい長老として人々に受け入れられる。感心した市長がコッペリウスに金貨の袋を与えるという大岡裁きで一件落着あ〜く。コッペリウスを来賓席に加えて楽しい町内会の余興が牧師さんの司会で始まる。贈られた時の鐘にちなんでの町の人々が演じる舞踊劇。町の日を表す時の精、曙の精が夜明けを告げると、人々は幸福を祈り、子ども達は元気に仕事のお手伝い。結婚する若者、町の平和は自分たちで守りぬいてきたし、疫病とも闘ってきた。最後にスワニルダとフランツが平和の精に扮して踊り、祭りはいつ果てるともなく続くのだった。

## 小道具表

指定なき物は数量1 ( )内は使用者

車付き椅子 (コッペリア用)	本 (コッペリア)
蝶 柄付き (スワニルダの友人)	結婚届け帳簿 (牧師)
柄付き眼鏡 (市長夫人)	日傘 (市長夫人)
祭りを告知する旗 (市長のボーイ)	麦穂 7本 (スワニルダと友人)
ステッキ (コッペリウス)	コッペリウス家の鍵
はしご (フランス)	ハンカチ (コッペリウス)
「誰でもわかる魔術入門」の本	薬瓶 (大げさなヤツ) 数量適宜
人形に掛けるホコリ避けの布 6枚	杯 2個以上
酒瓶	テーブル燭台
毛布 (寝てしまったフランスに)	大太鼓 (バチ2本付き)
望遠鏡	手鏡 (コッペリウス)
天眼鏡 (=虫めがねの大きいヤツ)	スペイン扇子
おもちゃのラッパ	スコットランド・ケープ
剣 (フェンシングのフルーレみたいな奴)	
鐘 と 鐘を運ぶ蓮台のようなミコシ状のもの (男4人位で担ぐ)	
金貨袋・・数個	金袋を載せる座布団
ブーケ数個	榊1枝 (ジゼルのミルタ用で可。但し折れないこと)
小型弓 4張 (キューピッド)	
死神が持つ 槍 4本 (漫画の虫歯菌が持っているようなヤツ)	
剣 (戦いの女性用) 6振	

## 大道具

### 第一幕

スワニルダの家

コッペリウスの家 = 二階付き 窓、ベランダ、  
一階玄関ドア・・オートクローズ (だと良いな)

ベンチ 2~3台

椅子 2脚 (市長と市長夫人)

ロスコ (スモーク・マシン)

第二幕 書棚

奥の間 (スワニルダが居る) との間仕切りカーテン

椅子 2脚

テーブル (第1幕とは違う物)

人形たちの椅子 or 台 適宜個数

第三幕 劇中劇の設定 開閉できるカーテン付き

ワイヤーで吊っておき「結婚の踊り」の後 徐々にトバす。



舞台上に鐘は吊らない 鐘吊らず ダンサー足ツル いとおかし

2015 バレエ TAMA 公演 配役表

7/14 版

町の娘 スワニルダ 上野祐未  
 町の青年 フランツ 大森康正  
 錬金術師 コッペリウス 中尾充宏  
 コッペリウスの娘 コッペリア 北澤 碧

スワニルダの友だち

猪嶋沙織 今中沙季 立花美子 田中里澄 中村千夏 萩原裕梨

フランツの友だち

奥野浩行 鈴木真央 土橋冬夢 泊 陽平 貫渡竹暁 皆川知宏

市長 藤本 寧 市長婦人 原美佐子  
 従僕 中島若葉 スワニルダの母 松延まき子  
 牧師 白柳 光

*Act1*

マズルカ

伊澤彩貴 伊藤汀渚 大嶋莉子 小坂美桜 高橋遥花 土井詩絵瑠  
 長尾彩希 松本響季 葉袋玲菜 麥田夏澄

チャルダッシュ

ソリスト 森谷睦典弥  
 石橋李穂 大賀比菜 小野千明 加藤聖来 土田志保 中村珠子  
 宮崎知美 村上真姫 四方真帆 渡辺麻友

*Act2*

ラッパ吹き 平井花苗  
 太鼓たたき 間宮由佳子  
 望遠鏡を持つ船乗り 白柳 光  
 スペイン人形 金井もも子  
 スコットランド人形 岩丸そよ伽  
 ミイラ 奥野浩行

## Act3

### 劇中劇の配役

#### 時の踊りを踊る町の娘達

伊澤彩貴	伊藤汀渚	石橋李穂	岩丸そよ伽	小野千明	金井もも子
北澤 碧	木田華子	越野琴音	桜内美沙	園山遙穂	高橋遥花
高橋優花	土田志保	土井詩絵瑠	長尾彩希	中村珠子	野本貴子
藤井紫帆	松本響季	間宮由佳子	源川まり子	麥田夏澄	吉田美花

#### あけぼの

大賀比菜  
丸山優菜 葉袋玲菜

#### 祈り

##### シルフ

加藤聖来  
岩淵好花 加藤真名 小林瑞希 作間未悠 田中まりん  
中屋日菜

#### 仕事

幾田りら 岩下莉愛 國原萌花 白鳥温子 滝沢莉子  
中川珠里 畑野未稀 福島里佳子 松元涼夏 持田里美  
百瀬野乃子 柳澤葉月

#### 結婚

##### キューピッド

大嶋莉子 小坂美桜 奥野浩行 鈴木真央  
クレラ海蓮 クレラ希新 佐々木晴香 佐山 歩 柴田結衣  
棚木ゆい 津吹寿花 古井彩楽 葉袋理沙 吉田 唯

#### 戦士

宮崎知美 村上真姫 森谷睦典弥 渡辺麻友  
土橋冬夢 泊 陽平 貫渡竹暁 皆川知宏

#### バイキン 疫病の精

金井もも子 長尾彩希 平井花苗 松本響季

#### 大団円

出演者全員



# 音楽表

## 第1幕

1	前奏曲とマズルカ	Prélude
2	情景とスワニルダのワルツ	Valse
3	フランツの登場とマズルカ	Scène et Mazurka
4	市長の登場とコッペリウス家の騒動	Scène
5	麦穂のバラード	Ballade
-----音楽停止-----キッカケ有り		
6	スラヴ民謡の主題によるヴァリアシオン	Thème slave
7	1	
8	2 フランツ	
9	3	
10	4 コーダ	
11	チャルダシュ	Czardas
12	コッペリウスの外出	Sortie et Final

## 第2幕

13	間奏曲とワルツ情景	Entr'acte
14	自動人形	Scène
15	自動人形と友人たち	Musique des automates
16	コッペリウス、怒りの帰還	Scène
17	フランツの侵入	Scène
18	酒盛りと魔術の支度	Chanson à boire et Scène
19	コッペリア	Valse de la poupée
20	情景	Scène
21	ボレロ	Boléro
22	ジーク	Gigue
23	終曲	Scène

## 第3幕

- |    |                           |                          |
|----|---------------------------|--------------------------|
| 24 | 鐘の行進曲                     | Marche de la cloche      |
| 25 | スワニルダとフランツ                | Fête de la cloche        |
| 26 | コッペリウスの強訴と和解<br>ドリーブ「泉」より |                          |
| 27 | 時の精たちの踊り                  | Valse des heures         |
| 28 | あけぼのと祈り                   | L'aurore et La prière    |
|    | -----音楽停止-----            | キッカケ有り                   |
| 29 | 子どもたち                     | Le travail               |
|    | -----音楽停止-----            | キッカケ有り                   |
| 30 | 結婚の踊り                     | L'Hymen                  |
| 31 | 戦いの踊り                     | La discorde et la guerre |
| 32 | 死の舞踏                      |                          |
| 33 | 平和のパ・ド・ドウ                 | La Paix                  |
|    | -----音楽停止-----            | キッカケ有り                   |
| 34 | フランツのヴァリアシオン              |                          |
|    | -----音楽停止-----            | キッカケ有り                   |
| 35 | スワニルダのヴァリアシオン             | Danse de Fête            |
|    | -----音楽停止-----            | キッカケ有り                   |
| 36 | 大団円                       | Galop Final              |

## エピソード

有名なヴァリアシオン奏者で作曲家のクライスラーは1885年パリ音楽院に入学し、ドリーブに作曲を学んでいる。

クライスラー自伝によると、第1幕のスワニルダのワルツはクライスラーの作曲になると記されている。確かにこの一曲のみ作風がドリーブらしからぬ物ではあるが、初演から15年・・・その間この踊りは無かったのだろうか、アメリカ初演にあたって新しい音楽の挿入があっのだろうか？

当時クライスラー弱冠11歳。今後の研究に期待している。

## 「コッペリア」の歴史と時代背景

- 1815 ホフマン「砂鬼」を著す。後にコッペリア台本の原本となる。
- 1821 9月17日 サン＝レオン パリで生まれる
- 1822 ホフマン没
- 1828 台本著者のC. ニュイッテル生まれる。 パリ・オペラ座「ラ・フィユ・マルガルデ」を初演
- 1832 「ラ・シルフィード」初演
- 1836 2月21日 ドリーブ生まれる
- 1839 アヘン戦争
- 1841 「ジゼル」初演
- 1850 ドリーブ、パリ音楽院を首席で卒業
- 1862 パリ・オペラ座完成（シャルル・ガルニエの設計）
- 1866 パリ・オペラ座、次期新作品に「コッペリア」を計画 ニュイッテルに台本製作を指示  
ニュイッテル、ホフマンの ホラー「砂鬼」を 喜劇「コッペリア」に書き換える
- 1867 ドリーブ、「コッペリア」の作曲成る
- 1868 サン＝レオン、「コッペリア」の振付開始 日本は明治維新
- 1870 5月25日 **「コッペリア」初演** 皇帝ナポレオン三世臨場 ロマンチック・バレエ時代終わる  
7月19日 普仏戦争勃発  
9月2日 **サン＝レオン没** 心臓発作によりパリのカフェで 49歳  
4日 フランス軍連敗 ナポレオン三世捕虜となり退位  
23日 **G. ボツァッキ（初演のスワニルダ）没** 天然痘と戦禍の栄養失調のため 弱冠17歳
- 1871 パリ陥落  
10月16日 **パリ・オペラ座「コッペリア」を再演** 大成功となり以後現在に至るまで最多上演演目となる
- 1884 ロシアにて **プティパ振付版 初演** 於：ペテルスブルク
- 1887 **米国初演** 於：ニューヨーク
- 1891 1月16日 **ドリーブ没**
- 1892 「くるみ割り人形」初演
- 1894 **プティパ改訂振付** 現在プティパ版とかロシア版といえ大抵これを指す
- 1896 12月27日 **デンマーク王立バレエ団で初演**
- 1899 **ニュイッテル没**
- 1910 2月 アンナ・パヴロヴァ プティパ版のスワニルダでアメリカ・デヴィュー
- 1912 日本 帝国劇場歌劇部、イタリアよりローシーを招き洋舞が始まる 日本のバレエ元年
- 1922 帝劇でアンナ・パヴロヴァ「瀕死の白鳥」を踊る 日本人のバレエ開眼となる
- 1947 **日本 全幕初演** 於：有楽座 スワニルダ＝貝谷八百子／谷桃子 振付とフランツ＝小牧正英
- 1966 パリ・オペラ座 フランツを女性が男役で演じていた（トラヴィスティ）伝統を廃す  
トラヴィスティの後継者が居なくなったため。
- 1973 パリ・オペラ座で**原典版復元上演**
- 1974 ニューヨーク・シティ・バレエ団 A. ダニロヴァのスワニルダで、**パランシン版を初演**  
ダニロヴァ の スワニルダ が理想的といわれた
- 1997 バレエTAMAの前身 バレエ連盟TAMA 安達哲治の演出振付で初演
- 2006 バレエTAMA 浅野正振付版発表